

# かくだ

Kakuda city

市議会だより

第162号

平成23年8月1日



▲議会活動や市の課題について活発に意見を交わした「第5回議会報告会」

(平成23年7月13日 藤尾自治センターにて)

## ■ おもな内容 ■

<b>第356回定例会</b> .....	2～10
◇本会議の概要 .....	2
◇審議結果一覧 .....	3
◇角田市初の「女性農業委員」誕生 .....	3
◇議員表彰 .....	3
◇一般質問 .....	4～9
◇討 論 .....	10

◆角田市議会の議会改革の取組み .....	11
◆議会報告会について .....	11
◆議員定数削減 19人から18人へ .....	11
◆8月定例会日程 (予定) .....	12
◆議会日誌 .....	12
◆編集後記 .....	12

# 災害関連補正予算議案など 20議案を審議しました

第356回定例会は6月6日に招集され、市長提出議案が19件、議員提出議案が1件、あわせて20件の議案を提案しました。そのうち条例改正議案については、所管の常任委員会に付託しました。上程された議案は、それぞれ慎重に審議され、17日間の会期を経て6月22日に閉会しました。

## 本会議

◎第1日（6月6日）  
会期を17日間と決定した後、平成22年度角田市一般会計繰越明許費繰越計算書及び平成22年度角田市一般会計事故繰越繰越計算書等の報告がありました。

その後、市長から上程された議案の提案理由の説明があり、専決処分12議案については、表決の結果、原案のとおり承認されました。

◎第2日（6月14日）  
初日に提案された議案に対し、柄目孝治議員をはじめ谷津睦夫議員、日下七郎議員、今野林一郎議員、高橋力雄議員の5名が質疑を行いました。質疑終了後、上程された議案のうち、条例の一部改正については、総務財政常任委員会に付託しました。

◎第3日（6月20日）  
23年度一般会計補正予算など5議案について審議し、表決の結果、原案のとおり可決されました。（3ページ参照）

◎第4日（6月21日）  
前日に引き続き、6名の議員が一般質問を行いました。（4～5ページ参照）

◎第5日（6月22日）  
前日に引き続き、2名の議員が一般質問を行いました。（9ページ参照）

われ、湯村勇議員からは「一般会計補正での庁舎エレベーター設置」について、柄目議員からは、「下水道特別会計補正での災害による下水道の早期修復計画」について通告があり、議案審議にあたり活発な意見交換が行なわれました。

◎第3日（6月20日）  
23年度一般会計補正予算など5議案について審議し、表決の結果、原案のとおり可決されました。（3ページ参照）

その後、一般質問が行われ、4名の議員が市政全般について質問を行いました。（4～5ページ参照）

◎第4日（6月21日）  
前日に引き続き、6名の議員が一般質問を行いました。（4～5ページ参照）

◎第5日（6月22日）  
前日に引き続き、2名の議員が一般質問を行いました。（9ページ参照）

一般質問終了後、総務財政常任委員会へ付託した議案について、細川健也委員長から審査の経過及び結果が報告されました。表決の結果、全会一致で可決されました。

その後、佐藤正友議員を提出者とする「角田市議会議員の定数削減条例」の議員提案がありました。日下議員による反対討論、相澤邦戸議員による賛成討論が行われ、表決の結果、賛成多数で原案のとおり可決されました。

審議結果は、3ページ表1のとおりで、審議された議案の主なものは次のとおりです。

### 主な補正予算の概要

▼一般会計（第1号・専決処分）  
歳入歳出補正総額は、9億2099万5千円。繰入金及び市債が歳入の主なものです。歳出の主なものは、今回の震災に伴う、公共下水道事業

特別会計繰出金、災害援護資金貸付金及び公共土木施設災害復旧費等の追加となります。

▼一般会計（第2号・第3号）  
歳入歳出補正総額は、第2号・第3号合わせて、4億3717万円。国・県支出金、繰越金及び市債の追加が歳入の主なものです。

歳出の主なものは、次の通りです。  
○人事異動に伴う人件費の組替え  
○倒壊家屋がれき処理費用  
○公立学校施設災害復旧費用  
○市庁舎渡り廊下改修費用  
○災害見舞金

### 条例の一部改正

#### 角田市市税条例

《個人市民税》  
○雑損控除額等の特例  
大震災により住宅・家財等に損害を受けた方は、選択により平成22年分又は平成23年分の損失として、損害額に基づき計算した金額を所得から控除する制度（雑損控除）の適用を受けることができます。また、控除しきれない損失額についての繰越期間を従来3年から5年に延長されます。

した。  
○住宅ローン減税の適用期限の特例  
住宅ローン控除の適用住宅が滅失・損壊しても、控除対象期間の残りの期間について引き続き住宅ローン控除の適用を受けることができます。

《固定資産税・都市計画税》  
○住居等に被害を受けた場合の特例  
大震災により住宅が滅失・損壊した方は、その住宅の敷地の固定資産税・都市計画税について引き続き住宅用地としての特例措置を受けることができます。

また、滅失・損壊した家屋の買い替えなどをされた方は、それらに係る固定資産税等についても特例措置を受けることができます。

▼角田市国民健康保険税条例  
地方税法施行令の改正に伴い、角田市国民健康保険税の課税限度額が次のとおり引き上げられました。  
○基礎課税額  
50万円→51万円  
○後期高齢者支援金等課税額  
13万円→14万円  
○介護納付金課税額  
10万円→12万円

表1

## 第356回定例会 審議結果一覧

議員数は19名。議長は表決に加わらないため、表決に参加した議員数は18名。（○…賛成、×…反対）

件名	議決年月日	議決結果	会派				
			クラブ みんしん	政友会	市民クラブ	日本共産 党議員団	無会派
市長提出議案							
角田市国民健康保険税条例の一部改正について	6月6日	承認 (賛成16 反対2)	○	○	○	×	○
専決処分							
平成22年度角田市一般会計補正予算(第8号) 平成22年度角田市老人保健特別会計補正予算(第3号) 角田市老人寮条例の一部改正について 角田市下水道条例の一部改正について 角田市農業集落排水事業条例の一部改正について 平成23年度角田市一般会計補正予算(第1号) 平成23年度角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号) 平成23年度角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号) 平成23年度角田市水道事業会計補正予算(第1号) 災害甲慰金の支給等に関する条例の一部改正について 角田市市税条例の一部改正について	6月6日	承認	○	○	○	○	○
条例							
角田市市税条例の一部改正について	6月22日	可決	○	○	○	○	○
補正予算							
平成23年度角田市一般会計補正予算(第2号) 平成23年度角田市介護保険特別会計補正予算(第1号) 平成23年度角田市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号) 平成23年度角田市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号) 平成23年度角田市水道事業会計補正予算(第2号)	6月20日	可決	○	○	○	○	○
平成23年度角田市一般会計補正予算(第3号)	6月22日	可決	○	○	○	○	○
議員提出議案							
角田市議会議員の定数に関する条例の一部改正について (議員定数19人→18人)	6月22日	可決 (賛成12 反対5)	○(5)	○	○(1) ×(3)	×	○

《各会派の構成メンバー》  
 ●クラブみんしん（高橋力雄、永沼正一、今野林一郎、谷津睦夫、相澤邦戸、柄目孝治）  
 ●政友会（佐藤正友、星守夫、渡邊誠、齋藤正一郎） ●市民クラブ（本田敏昭、小島正、湯村勇、細川健也）  
 ●日本共産党議員団（日下七郎、八島定雄） ●無会派（会派に属さない議員）馬場道晴、玉手安博議長、伊藤善昭副議長  
 ※「角田市議会議員の定数に関する条例の一部改正について」の表決に参加した議員数は17名。

### 角田市初の「女性農業委員」誕生

角田市に初めて女性農業委員が誕生しました。農業委員会は、「選挙による委員」と「選任による委員」で構成されています。そのうち選任による委員は、農協、農業共済組合、土地改良区及び市議会が推薦した者を市長が選任し、委員に就任します。この度任期満了に伴い、市議会から次の方々が推薦されました。  
 ○六戸明美氏（北江尻）  
 ○三浦和子氏（枝野6区）  
 市議会では、女性農業者の声を反映させ、女性の視点に立った地域農業の活性化につなげていただくことを目的に「市議会が推薦する農業委員の一般公募」を実施し、今回の推薦に至ったものです。  
 委員の任期は、平成23年7月20日から平成26年7月19日までの3年間。

### 議員表彰

6月15日、東京都日比谷公会堂において、第87回全国市議会連合会定期総会が開催され、同会会長から次の方が表彰されました。  
 ◆一般表彰  
 （議員在職十五年以上）  
 本田敏昭 議員





### 福島第一原発事故に伴う放射能汚染対策について

齋藤正一郎 議員

議員▼3ヶ月以上経過し内部被ばく量も考慮すれば、校庭の表土を削り取る等の対応を検討する時期が迫っているのではないか。今後のような安全対策を考えているのか。

教育長▼保護者の不安も考慮し、校庭表土の土壌測定検査を準備しているところ。国・県の方針をふまえ、近隣の市町とも密接に連携を図り、児童生徒の健康安全を守る決意を持って、適切な対応に全力を傾注します。

議員▼一番の弱者である子ども達のために、市独自で早急に学校や保育施設の除染作業を行ない、これ以上の被ばくを抑えて保護者の不安を払拭すべきである。

教育長▼もったきめ細かく測定し、その結果で表土の削り取りや草刈りなど具体的にやっています。

議員▼一般公衆の放射線量限度は年間1ミリシーベルトつまり毎時0.19μSv

以下の環境に改善すべきである。特に空中放射線量が高い学校で除染作業を行ない、その効果を確かめてはどうか。

教育長▼子ども達の安全安心のためにやらねばならないことは、やるという強い決意で放射能問題に取り組んでいきます。

議員▼原発から60キロしか離れていないので、詳細な情報発信は市民が最も願っている。放射能を正しく怖がるために、判断材料を継続的に提供すべきである。汚染対策や風評被害対策、今後の放射線測定範囲についても伺います。

市長▼きめ細かな測定を実施し速やかに公表することで風評被害対策になることを考えます。

また、高性能測定器を新たに購入し、その測定結果に基づいて様々な対策を講じます。

議員▼枝野のごみ焼却施設にはセシウムなどの放射性物質の飛散(再拡散)

対策となるフィルターは設置されているのか。作業員や周辺住民への影響はないのか伺います。

市長▼すでに専用フィルターを設置しています。作業環境に応じ防護服や防塵マスクなどを着用して従事しています。

周辺住民への影響が高まることは考えにくく、放射線量は、市内の現状値とほとんど変わらない測定結果です。

議員▼阿武隈川から取水の枝野浄水場において放射性物質のセシウムなどを取り除く方法はあるのか伺います。

市長▼除去は、ろ過の過程で出来るという話も聞いていますが、なお、安全対策については関係機関と相談します。

【齋藤議員その他の質問】

- 耳鼻科と小児科医師の招へいについて
- 阿武隈川右岸堤防(枝野前原地区)の本格復旧工事について

中央排水区雨水調整池を利用したスケートボード場の整備について

議員▼角田市の雨水調整池は、コンクリートを張れば最高のスケートボード場ができます。近隣にはない最高の施設になると思うがいかがか。

市長▼他の自治体の事例を参考にしながら検討します。

野球場の夜間照明について

議員▼自然エネルギー転換の中で1,000万世帯のソーラー発電という国の事業がありますので、角田市の野球場にはナイター設備がなかったことを幸いに、モデル事業として手を挙げてはどうか。

市長▼ソーラーシステムを導入したらどうかという提案だと思いが、妙案だと思いが、可能かどうか検討します。

型動力ポンプ付積載車を配備できる予定です。

角田市の町尻土地区画整理組合の解散時期について

議員▼最後に組合に残った残金をすべて水道開発負担金として納入していただき、それでも残っている水道開発負担金は、角田市として欠損金扱いとして、角田市町尻土地区画整理組合を円満に解決すべきだと思いがいかか。

市長▼私も本議員と全く同感です。最終的な清算段階で残金が出れば、水道会計と一般会計に対し、清算行為を行うことが一番いい方法だと考えています。

### 交流人口100万人都市を目指した施設整備について

本田敏昭 議員



議員▼運動時の水分補給は非常に大切であり、飲料水自動販売機を設置するべきだと思いがいかか。

市長▼設置の場所や管理等も含めて、今後、検討してまいります。

角田市消防団第1分団5部1班、小型動力ポンプ積載車配備について

議員▼今後の用地選定から積載車配備までの当局のスケジュールを伺います。

市長▼条件が整えば用地選定から2年後には、小

安全・安心メールの利用拡大について

議員▼イベント情報や、安全・安心・幸せメールというような、利用にも拡大できる仕組みをとっておくべきだと思いがどうか。

市長▼イベント等の情報についても、使えるような工夫をしていこうと庁内で検討しており、早く実現できるよう考えています。

議員▼救急医療情報キットとは、高齢者や障害のある方などの安全・安心を確保することを目的に、かかりつけ医や持病などの医療情報や服薬・診察券・保険証等、本人の情報を専用の容器に入れたものです。保管場所がわかりやすい冷蔵庫に保管し、このキットが入っていることを知らせるシールを冷蔵庫の扉と玄関の内側に貼り、万が一の救急時に備えます。持病や服薬等の医療情報を確認することで、適切で迅速な処置が行えます。本市においても実施すべきですが、市長の考えを伺います。

市長▼本格的な導入に当たっては、民生委員児童委員や消防署等に御協力をお願いする必要があります。今後は、平成24年度からの導入に向け環境整備を進め、対象者や具体的な内容について検討します。



▲救急医療情報キット

議員▼健診制度の大きな問題は、ペナルティー付きの制度である。国民健康保険税が値上げされ、目標達成できないと住民が連帯責任を負わされる形だ。市長はどのように認識され、今後どのように対応していくのか伺います。

市長▼目標が達成できない場合、後期高齢者支援金ついで、プラス・マイナス・10%の範囲内で、政令の定める方法により加算・減算等の調整を行うことは、全国一律にハイレベルな目標値を設定し、運営状況の異なる保険者同士を競わせるものでも、とても納得できるもの

特定健康診査・特定保健指導について

議員▼健診制度の大きな問題は、ペナルティー付きの制度である。国民健康保険税が値上げされ、目標達成できないと住民が連帯責任を負わされる形だ。市長はどのように認識され、今後どのように対応していくのか伺います。

市長▼目標が達成できない場合、後期高齢者支援金ついで、プラス・マイナス・10%の範囲内で、政令の定める方法により加算・減算等の調整を行うことは、全国一律にハイレベルな目標値を設定し、運営状況の異なる保険者同士を競わせるものでも、とても納得できるもの

特定健康診査・特定保健指導について

議員▼健診制度の大きな問題は、ペナルティー付きの制度である。国民健康保険税が値上げされ、目標達成できないと住民が連帯責任を負わされる形だ。市長はどのように認識され、今後どのように対応していくのか伺います。

市長▼目標が達成できない場合、後期高齢者支援金ついで、プラス・マイナス・10%の範囲内で、政令の定める方法により加算・減算等の調整を行うことは、全国一律にハイレベルな目標値を設定し、運営状況の異なる保険者同士を競わせるものでも、とても納得できるもの

八島定雄 議員

### 救急医療情報キットについて

馬場道晴 議員



議員▼早急に市内の全保育所・児童館・幼稚園・小中学校・高校に放射線測定器を配備し、校庭の表土、校庭の空気、プールの水等の放射線測定を定期的に行い、市民に公表すべきであります。

教育長▼放射線測定器の配置について、きめ細かく継続的なデータの収集と集積が必要であるとの考えから、中学校までを対象として考えています。

【馬場議員その他の質問】

- 公立学校施設の防災機能の向上について
- 東日本大震災における子どもの心のケア体制の強化について



▲総合健診説明のようす

議員▼震災住宅改修事業補助金交付制度(仮称)の創設について

議員▼震災住宅改修事業補助金交付制度(仮称)の創設の考えはあるのか伺います。

市長▼軽度の被災に対する救済がこれまでのいろいろな制度では不十分であると考えていた中で、こういった点に十分配慮し、支援制度を創設することにしました。支援制度の名称は、「角田市住宅災害復旧事業補助金」です。対象となる建物は、自己の居住用として、一部損壊以上の被災を受け、その補修工事が21万円以上である場合、10万円を限度に工事費の10%を補助するというものであります。ただし、国の補助

「新学習指導要領」等について

議員▼柳田邦男氏は、小学校段階からの「論理的思考の大切さ」を主張しているが、教育長の認識を伺います。

教育長▼授業の中で、まずは言葉を大切に、言語力を身につけさせ、そして、論理的な思考ができるような教育、訓練をしていくことが基本的に大事だと思っています。また、日常生活において、子供たちを取り巻く言語環境には注意を払い、そして、よりよい言語環境を子供たちにつくってあげながら、そういう中で、心豊かに、しかも論理的のある、思考力を持った子供を育成していくことが大事であると考えています。





災害対策本部内の指揮命令について

湯村 勇 議員

議員▼東日本大震災発生直後、市長の指揮のもと、角田市は災害対策本部を設置しましたが、災害対策本部長、副本部長及び消防団長、それぞれの指揮命令権限について伺います。

市長▼今回の震災に際しては、発災後、直ちに災害対策本部長である市長が各本部長を招集して、災害対策本部を設置するとともに本部員会議を開催し、市民の安否情報等の確認を最優先に被災状況の情報収集を早急に実施するよう、各本部長に命令を発したところです。本部からは、消防長である消防団長に対し、非常配備体制をしき、団員の確保を前提に、災害情報の収集伝達をはじめ初期消火、被災者の救出、救護、避難誘導などの消防活動を早急に指示できる体制づくりを指示しました。本部長の指示を受けた消防団長は、副団長及び各分団長に対し、

電話等の通信網が不通となっていたことから、防災行政無線により各分団の班員まで情報を伝達するよう指示しました。議員▼今回、消防団員までの連絡が全然なされておらず、途方に暮れていた団員がおりました。今後の消防団との連携、役割について市長の考えを伺います。

市長▼団長さんはじめ副団長さん、分団長さん等々、毎日本部においてなっている姿を拝見し、団長さん等との打ち合わせも実施しました。ただ、御承知のように、停電、電話の不通、ガソリン不足、そういった状況が続く中で、果たして十分な情報の伝達等ができたのかということになると、防災無線があつたもの、なかなか十分に伝わっていません。

東京電力と交渉し、損害賠償の請求を行うことにしています。現在、角田市において農産物に関する風評被害はないと農協から聞いています。ですが、放射能測定結果によっては、基準値を超えた場合に出荷制限等がなされることになり、その作業が難しく、農産物への影響が出るものと推察されます。そのような事態に備えて今のうちに対応マニュアル等の対応策の検討は大変重要だと思われ、福島県等での対応策を参考にしているのか調査します。



▲水防訓練の様子

【湯村議員その他の質問】  
○農業政策について  
○企業誘致について

議員▼角田市内の現在の放射線量をどう捉えているか。  
市長▼現在程度の線量では、避難、大がかりな除染は必要ないと考えるが、できる限り防衛していく必要はあるので、その対応に万全を尽くしたいと思えます。

議員▼現在、角田の放射線量は平常の10倍から15倍程ある。許容範囲が他国と比べて高いので子どもへの影響が大変心配です。保育、教育の現場でどの様な配慮をしているのか伺います。  
市長▼市内に環境放射線対策班をつくり、きめ細かな測定と国が定める基準により、除染を考慮しています。保育所では、戸外遊びの時間制限、帽子着用、手洗い、うがいなどの対応をしています。

議員▼市の生産物への風評被害が生じた場合、農畜産物を守るため、損害賠償を求めていくべきだと思いませんか。また、福島に近い県南として地域を特定して賠償してもらえないか。  
市長▼風評被害が発生した場合、関係機関等と協議して対応していきます。

福島第一原発事故について 東日本大震災について

相澤 邦戸 議員



議員▼角田市教育委員会としての取り組みを願いたい。放射線物質が濃縮蓄積されている場所へ近付かない等注意を促し子供を守ってほしい。内部被曝については給食の食材も考えてほしいが、いかがか。  
教育長▼食材については、その都度、産地確認もしています。今後、実効線量係数を活用しながら線量をチェックしていきたいと考えています。  
市長▼農作物は出荷の時期になりましたら、専門機関に依頼し測定したい

議員▼東日本大震災に際し角田市が受けた善意について  
議員▼寄附金(市の復旧費)とし、義援金(被災者に直接支払われる)としては受けなかつた理由を伺います。  
市長▼寄附金は2100万円程、災害見舞金は340万円程いただいています。義援金としては、社会福祉協議会で受け付けました。  
議員▼家屋の修復、瓦れき処分、店舗土蔵の改修等、個人負担も大きくなっています。各被災証明書はなくても、何らかの形で支援していただくと励みにもなるがいかがか伺います。  
市長▼災害見舞金として計530万円を追加提案することになっています。

福島第一原発事故に伴う放射能に係る農畜産物の風評対策について

今野 林一郎 議員



議員▼マニュアルなど対策の自立案が必要だと考えるが、市長の考えを伺います。  
市長▼農畜産物の損害賠償対策について、JAGグループでは東京電力原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会を設立して、農家から委任を受け

東京電力と交渉し、損害賠償の請求を行うことにしています。現在、角田市において農産物に関する風評被害はないと農協から聞いています。ですが、放射能測定結果によっては、基準値を超えた場合に出荷制限等がなされることになり、その作業が難しく、農産物への影響が出るものと推察されます。そのような事態に備えて今のうちに対応マニュアル等の対応策の検討は大変重要だと思われ、福島県等での対応策を参考にしているのか調査します。

議員▼震災後のまちづくりに関するJR東日本による新常磐線構想について伺います。  
市長▼今後の常磐線の復旧に向けて、東北運輸局が主体となり、関係機関が一堂に会し、情報交換、調整等を行う目的で会議が開催されたようです。今後、大きな論点となる軌道ルートの設定や駅舎の整備に当たっては、鉄道が敷設されていた自治体の意見が最大限に考慮されると思います。本市の将来を見据えた地域開発、地域振興に結びつく重要な戦略になることと想定されるので、今後、隣接市としての立場を踏まえ、国・県などの関係機関に本市の意向を伝えていきたいと考えています。

議員▼災害廃棄物の基本方針による大量の瓦れき処理を見据えた、新たな4市9町広域ごみ処理施設構想について伺います。  
市長▼宮城県の考え方は、災害廃棄物を分別した上で、大規模な2次仮置き場を県内の沿岸部に5カ所設置し、再利用できるよう中間処理しながら、焼却と埋め立て処分する量を極力減らす取り組みを行うものです。この大規模な仮置き場の使命は、あくまでも津波や地震被害で発生した大量の瓦れきを緊急に短期間のうちに処理完了させることで、処理が完了すれば焼却炉も撤去されると伺っています。宮城県としては、国の災害等廃棄物処理事業の補助を受けて2次仮置き場の処理施設をリースにより整備することにしており、恒久的に使用する一般廃棄物処理施設は、国の補助対象にならないということで、仙南地域も含めて広域的なごみ処理施設をつくっていくという構想は

なかなかな難しい問題ですが、いろいろな情報を集めて可能性を探っていきたいと考えています。  
【谷津議員その他の質問】  
○復旧対策と併せ「あぶくま川河川空間構想」の考え方や取り組みについて  
○「第5次長期総合計画」において、リスク分散の考え方に基つき小田・枝野の浄水施設存続への施策変更及び「丸森町水道事業」との連携策について  
○将来を見据えた「角田市防災対策と体制整備」について  
○福島第一原発事故による角田市の現状と今後の市民被ばく防止対策等(リスク軽減策)について  
○災害復旧・復興に要する多額の財源確保策について





### 福島第一原発事故の 対応について

日下七郎 議員

**議員**▼(第356回定例会行政報告①)「放射線測定」の取り組みについて、「本市におきましても、市民からの問い合わせや不安の声がおおきくなっているところであり、市民の声を」について伺います。

**市長**▼主な内容をご紹介しますと、学校、児童館などでの外遊び、特に砂遊びの禁止、制限をしてほしい。屋外活動自粛、プール自粛について、福島県と同程度の対応をしてほしい。校庭の表土を削り取ってほしい。放射線を継続的に測定し、子どもたちが危険な場所に近寄らないように指導してほしい。など29件ほどに及んでいます。角田市としては、これらの市民の声を真摯に耳を傾けて最善をつくして対応しているところとす。

**議員**▼角田市からのお知らせ(第13号)空間放射線量測定結果によると、市長答弁の児童館、小

校、サッカーをする芝生とか、例えば中島保育所が0.55マイクロシーベルトを年間の被ばく線量に換算すると5ミリシーベルトで、5ミリシーベルトは「被ばく線量と人体への影響」では妊娠可能な女性の1年間に及ぶ職業被ばくの線量限度となっています。

**議員**▼国の基準を示されなくとも野外水泳の授業を中止し、屋内水泳にし、積極的な政策を出しているわけですか。市民の声を聞いて対応を行うことを発信するのが、市長の住民の生命と財産を守る役割じゃないかと思えますがどうですか。

**市長**▼放射能汚染の対応について、福島県と近いところに当市があるということ、福島基準に基づいて

**議員**▼本件に対する宮城県への対応、いざさか後手に回ってきたのではないかと、事故地点との距離を考慮した場合、福島県並みの対策を求めている必要があると思えますが、市長の認識を伺います。

て空中放射線の測定の結果に対応しておりますし、水道水、農産物、農作物、土壌など検査測定を随時やっております。安全・安心の確認、確保に努めております。学校プールの使用自粛、それ以外にも、何らかの除染が必要で、親の方々の不安を少しでも払拭できるように対応をしていきたいと思えます。

**議員**▼6月4日に「放射線と健康」と題する講演を開催しましたが、さらに、きめ細かに放射線の問題について、学習の機会を設けたり、相談窓口を設置するなどの市民に安心を与える対策が大事だと思えますが、市長の考えを伺います。

**市長**▼放射線の問題は、健康にどう影響を与えていくか、子どもを中心とした放射線に関する相談会を開催し、より身近で色々な相談ができる機会を作りたいと考えています。また、庁内に環境放射線対策班を設置して、情報を共有しながら対応を考えていきたいと思えます。

**議員**▼感受性が強いとされる子供たちへの影響が心配されますが、各施設でのモニタリングのほか、野外プールの使用自粛、給食材の見直しなど、さまざま



### 学校給食センターについて

佐藤正友 議員

**議員**▼学校給食センターの整備について伺います。

**議員**▼現学校給食センターは、衛生面において「学校給食衛生管理基準」に構造的に合致しないというところであれば、急がなければならぬと思うがタイムスケジュールについて伺います。

**議員**▼東日本大震災の被害があり、これほど赤生ため池の必要性を感じたことはありません。存在価値があることを改めて痛感した次第であります。そこで、赤生ため池の機能をどう考えているのか伺います。

**議員**▼赤生ため池には、取水量的には影響がないので、可能な限り使用していきたいと考えています。ただし、赤生ため池にはたくさん土砂が堆積しており、洪水調整機能の低下が危惧される状況です。とりあえず市で立木を刈り払い、その後、土砂については河川管理者の県とどこまで対応するかお互い役割分担し整備していくことで、内容を詰めたかと考えています。

**議員**▼東日本大震災により、市民センターが大きな被害を受け、一部機能が麻痺している中で、今まで市民センターが担ってきた、コミュニティ施設としての機能や生涯学習の拠点としての機能を、小田小学校跡地において機能分担させる考



▲老朽化した学校給食センター



### 赤生ため池の進捗 状況について

小島正 議員

**議員**▼赤生ため池には、取水量的には影響がないので、可能な限り使用していきたいと考えています。ただし、赤生ため池にはたくさん土砂が堆積しており、洪水調整機能の低下が危惧される状況です。とりあえず市で立木を刈り払い、その後、土砂については河川管理者の県とどこまで対応するかお互い役割分担し整備していくことで、内容を詰めたかと考えています。

**議員**▼東日本大震災により、市民センターが大きな被害を受け、一部機能が麻痺している中で、今まで市民センターが担ってきた、コミュニティ施設としての機能や生涯学習の拠点としての機能を、小田小学校跡地において機能分担させる考

**議員**▼赤生ため池には、取水量的には影響がないので、可能な限り使用していきたいと考えています。ただし、赤生ため池にはたくさん土砂が堆積しており、洪水調整機能の低下が危惧される状況です。とりあえず市で立木を刈り払い、その後、土砂については河川管理者の県とどこまで対応するかお互い役割分担し整備していくことで、内容を詰めたかと考えています。



## 角田市議会の議会改革の取り組み

～議会基本条例の具現化を目指して～

角田市議会では、本年3月に議会基本条例を制定し、市民の皆様のお伺いし、議会内の議論や政策形成につなげ、施策として市民にフィールドバックする仕組みづくりの構築を目指し、様々な取り組みを行っています。

最近の議会改革に向けた取り組み、活動状況について報告いたします。

### 議会改革検討会議の設置

市議会では、議会改革を推進し、市民に開かれた議会とするための検討を行うことを目的に、「議会改革検討会議」を設置しました。

この会議は、本年3月に制定した角田市議会基本条例に位置づけられた会議です。会議の構成員は、主に2人以上の会派から1名ずつ選出し、計9名で構成しています。(表2参照)

望ましい議会のあり方について市民とその理想像を共有できるよう検討してまいります。

表2 議会改革検討会議名簿

職名	氏名	会派名
会長	相澤邦戸	クラブみんしん
副会長	渡邊誠	政友会
委員	馬場道晴	無会派
〃	高橋力雄	クラブみんしん
〃	佐藤正友	政友会
〃	本田敏昭	市民クラブ
〃	小島正	市民クラブ
〃	日下七郎	日本共産党議員団
〃	柄目孝治	クラブみんしん

### 議会報告会について

7月13日(水)～15日(金)にわたって9地区12会場で「第5回議会報告会」を開催しました。

市政全般について市民の皆様から様々な意見をいただき、実りある意見交換になりました。議会報告会は、議会改革の重要な位置づけにあるものです。今後も、市民の皆様のお意見を議会の政策づくりに生かしてまいります。

報告会の詳細については、次号の議会だよりでお知らせします。

### 検討事項

- 議員定数・議員報酬について**  
議員定数や議員報酬のあり方(増減又は現状維持)について、5回にわたって検討しました。検討結果は次のとおりです。  
○議員定数は、各会派・委員の意見の集約化を図ったが、「削減すべし」と「現状維持」の両論がきつ抗し、検討会議として一本化の結論には至らなかった。  
○議員報酬は「現状維持」が多数を占めたが結論は出なかった。
- 震災を踏まえた選挙運動のあり方について**  
今回の震災の影響で、各県・市町村の地方議会議員が選挙運動を自粛したり、制限するといった取り組みをしていることについて報道されています。角田市議会におきましても、議会改革検討会議を開催し4回にわたって「震災を踏まえた選挙運動のあり方」を検討しました。

### 検討の経過

- 平成23年4月1日(第1回会議)**  
○議員定数や議員報酬について会派に持ち帰り検討することを要請
- 4月8日(第2回会議)**  
○会派持ち帰り検討結果の報告と意見集約
- 4月15日(第3回会議)**  
○会派持ち帰り再度検討結果の報告と意見集約
- 4月22日(第4回会議)**  
○会派内合意形成に向けて検討結果報告と意見集約
- 4月28日(第5回会議)**  
○議長への報告(案)についての協議
- 6月14日(第6回会議)**  
○「震災を踏まえた市議会議員選挙のあり方」議会運営委員会からの検討要請について受入の協議。
- 6月20日(第7回会議)**  
○議員間自由討議の開催検討
- 6月24日(第8回会議)**  
○選挙運動のあり方について検討
- 7月1日(第9回会議)**  
○意見集約

## 議員定数削減 19人から18人へ

議会改革検討会議で議員定数削減の検討を重ねましたが、議会としての意見集約ができませんでした。

しかし、「改革とは常に考えるべきことであり、素早く実行することが大切である」と考える有志議員が、今月定例会に議員発議により、議員定数削減条例議案が提出され、賛成多数により可決しました。これにより、定数は現行の19人から18人になりました。9月執行の市議会議員一般選挙から適用されます。

この定数1人減は、多くの議員の賛同を得た数であり、3月に制定した議会基本条例の理念の下、新たな議会づくりに向けたスタートラインに立ち、踏み出していくという決意のもとに提案されたものです。

## 議案に対する討論の要旨

第356回定例会で討論された、「角田市議会議員定数削減条例」についての要旨を掲載します。



### 反対

日下七郎 議員

議会議員、議会のあるべき姿というのは、議員の皆さんも自覚しておられることであり、議員として、どうしていくかということは、昨年まで、議会基本条例の制定前にも、議会改革検討委員会で議論されました。

本年4月に5回にわたり開催した議会改革検討会議では、検討の結果、定数問題については「削減すべし」と「現状維持」の両論がきつ抗し、同検討会議として一本化の結論には至らず、両論併記の議長報告となっております。

しかし、その後の情勢の変化により、今回の提案になったのでしょうかけれども、同検討会議の中では、「定数を削減すれば、常任委員会の審議機能が低下する」のを懸念する声が多かったことから、今までどおりの常任委員会の体制の中で議会運営をしていくべきであり、議員定数は19名の現状維持であるべきと考えます。

市民の方々から、働きもしない報酬ばかり受けていてという批判に応えた形が、「1名削減」ということです。明日の新聞には、「議員が1名少なくなることにより、年間の議員報酬と期末手当あわせて541万8,160円を削減」と報道されることでしょうか。

このことについては、4回目の検討会議の中で、対案として、日本共産党議員団の代表 日下七郎名で、「定数の変更せず、議員報酬を5%削減する」という内容で、検討会議のメンバーに資料配付のうえ説明し、検討会議を傍聴した方々にも日本共産党の立場を明確にして意思を表明しました。この反対討論の場でも、同じく私たちの意思を示したいと思います。

また、反対する理由のもう1点は、期末手当の問題です。期末手当は議員報酬月額に15%を割り増しし、支給率を年間2.95月分として算出することになっています。これは、市民から見れば隠れたお手盛りなのです。だから、この割増加算率15%を廃止すべきです。加算率廃止と報酬額5%削減を合わせると、年間855万6,000円の議会費が削減できるのです。「定数1名削減策」との差額が313万7,840円で、議員定数削減でなく、議員報酬5%削減と加算率を廃止することが民意を汲むものでありまして、「議員1名が少なくなる」ことは、民意の施策への反映が低下していくのであります。

このようなことから、今回は「定数削減」ではなく、「議員報酬・期末手当の削減」こそが、市民の負託に応えられるものであるのではないかということで反対討論するものであります。



### 賛成

相澤邦戸 議員

私は、「角田市議会議員の定数に関する条例の一部改正」について、政友会、細川健也議員、馬場道晴議員、そして、クラブみんしんを代表して、賛成の立場で討論をさせていただきます。

私たち議員は、市民の皆さんの負託に応えるべく活動に取り組んでおります。議員の役割を考えたとき、個々の議員としての活動はそれぞれにきたつもりではありますが、市民の皆さんが期待する活動がなかなかできなかった部分があったのではないかと反省をいたしております。これを何とか挽回していかなければならないという思いから、2年ほど前から、議会基本条例の起草にとりかかり、議員の役割をもう一度深く掘り下げて検討し、よりよい議会をつくり上げるよう取り組んでまいりました。

その作業を通して、議会報告会を開き、市民の皆さんの声を数多く聞いてまいりました。さまざまな意見の中に、議員定数削減の声も多くあり、また、アンケート結果は削減の意見の方が多数を占めました。一方では、議員の真の役割を踏まえた活動をさらに活発にすべきとの意見も多数ありました。市民の皆さんの意見、提言をよく聞き、そして、それを議会に反映させ、また、わかりやすい議会を目指し、市民とともに、まちづくりに取り組んでいくべきということを身をもって理解することができました。

しかし、わが市におきましても、未曾有の大震災、そして、福島第一原発事故による放射能汚染問題等々、今後、復興・復旧には、複数年あるいは十数年かかるものと思われまます。その対応費用も莫大であると思われまますし、また、私たち角田市の財政も非常に厳しい状況であります。そんな状況をかながみまして、議員定数削減に賛成するものであります。

議員の削減数につきましては、今までも改革を積み重ねてまいりました。

今後の議員活動として、

- 市民の声をできる限りの方法で、できる限り多くを聞き、それを議会に反映させる。
- そして、議員の役割を深く重くとらえ、より活発な議員活動を展開させる
- 細部にわたり深く審議し、政策チェックあるいは議員提案等を展開させる
- 常任委員会をさらに活発化させる。
- このたびの大震災に對しまして、議員としての活動すべきこと、働くべきことがますます増大してくる状況にあります。

このようなことをかながみまして、議員定数は19人から18人とし、1人削減をすることとする先ほどの提案に賛成するものであります。議員各位におかれましては、是非、賛同していただきますよう、よろしくお願いを申し上げまして、賛成討論といたします。



# 市議会8月定例会

## 日程(予定)のお知らせ

7月28日(木)	招集告示 会派代表者会議
8月1日(月)	議員協議会 議会運営委員会
4日(木)	本会議(提案理由の説明) 会派代表者会議 正副常任委員長会議
5日(金)	議会運営委員会
9日(火)	常任委員会(請願審査)
10日(水)	本会議(質疑・自由討議) 決算審査特別委員会
11日(木)	決算審査特別委員会
12日(金)	決算審査特別委員会 会派代表者会議
17日(水)	決算審査特別委員会分科会
18日(木)	決算審査特別委員会分科会
19日(金)	常任委員会(議案審査)
22日(月)	本会議(一般質問)
23日(火)	本会議(一般質問) 決算審査特別委員会 議会運営委員会
24日(水)	本会議(討論・表決) 議会運営委員会
25日(木)	本会議

※本年は、市議会議員一般選挙の年にあたり、9月定例会の日程が通常より早まります。

※本会議の開会時刻は、午前10時です。

## 議会を傍聴しませんか。

定例会は、年4回開催されます。

皆さんの身近な問題が審議されており、どのような方針で市政が進められていくのか知ることができます。

また、市役所東庁舎1階の市民ホールのテレビでも議会中継がご覧になれます。お気軽に足を運んでみませんか。

※日程は変更される場合がありますので、傍聴を希望される場合は、議会事務局(☎63-2124)にお問い合わせください。

**傍聴者数 第356回(平成23年6月)定例会 49名**

## 議 会 日 誌

### 5月

19日	会派代表者会議
23日	仙南地域広域行政事務 組合議会運営委員会
25日	東北市議会議長会定期 総会(仙台市)
27日	仙南広域議会臨時会
30日	第356回定例会招集 告示 会派代表者会議

### 6月

2日	議員協議会
6日	議会運営委員会 第356回定例会本会 議(第1日)
7日	会派代表者会議
8日	議会運営委員会 談会(東京都)
14日	本会議(第2日) 会派代表者会議 議会改革検討会議
15日	全国市議会議長会第87 回定期総会(東京都 比谷公会堂)
16日	総務財政常任委員会
17日	議会運営委員会
20日	本会議(第3日) 議員協議会
21日	議会改革検討会議
22日	本会議(第4日)
24日	本会議(第5日) 議会運営委員会 議会だより編集会議 議会改革検討会議

### 7月

1日	議会改革検討会議
7日	平成23年東北地方太平 洋沖地震被害対策調査 特別委員会
11日	議会だより編集会議
27日	東日本大震災に係る 県・市町村議会要請活 動(東京都衆議院第2 議員会館)
	議会運営委員会 議会報告会班会議

## 編集後記



▼梅雨も明け、いよいよ夏本番を迎えました。今夏も暑さが厳しいようです。

この度の東日本大震災において、福島第一原発事故がもたらした電力不足が問題になっていきます。一人ひとりが節電に協力し、電力不足に対応できるよう頑張らしましょう。大震災をきっかけに、再認識した日本人の絆、思いやりや叡智を持ってこの国難を乗り越えたいと思います。

市議会におきましては、3月定例会で議会基本条例を制定し、6月定例会で議員定数を1人減とする改正条例を議員提案しました。今後とも市民の皆様からの御意見を頂きながら積極的に政策立案・提言を進め、努めてまいります。

皆様のご健康とご多幸を祈念し、震災からの一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。

がんばろう 角田!

議会だより編集会議